

# あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和6年9月10日(火)

## 命を守る

9月1日は、「防災の日」です。1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。関東大震災では、地震・火災・津波等、次々に起こる様々な災害により、10万人以上の犠牲者が出たということです。この「防災の日」を含む1週間は防災週間とされ、各地各所で防災訓練等が実施されています。

暁中学校では、9月3日に、避難訓練を実施しました。地震発生に続き火災発生という想定で、基本動作の確認に加え、避難経路が通行できない状況の対応をその場で判断する訓練を取り入れ実施しました。全校が避難した後、消火器による消火訓練を行いました。



最初の放送が入ると、各教室では、机の下に潜り込み、頭を守る基本動作が確実にできていました。避難場所の運動場へは、真剣な表情で、静かに素早く移動することができました。この姿から、暁中生の防災に関する意識の高さがうかがえました。



消火訓練では、各学年の代表が練習用の消火器を使って実技をしました。手順を一つ一つ確認しながら、正確に操作をすることができました。



【各学級で事前の確認】



【しっかり頭を守ります】



【素早く校舎から離れます】



【ピンを抜いて、ノズルを火元に向けて】



【タブレットを使って振り返りを】

地震や水害等の災害には、「命を守る」を最優先にして冷静に行動できるように、今後も訓練を大切にしてほしいと思います。また、災害が起こった場合には、学校での訓練を生かし、地域のためにリーダー的な活躍ができる暁中生であることを期待しています。